

■島根県教育センター

研究主題：信頼関係を育むために
～教育相談の考えをベースにして～

長期研修員 花田 詠美（出雲市立北陽小学校）
（教育相談スタッフ相談セッション）

【要旨】

本研修は、様々な他者と「信頼関係を育む」とはどういうことかについて考え、大切にしたい姿勢やかかわりについてまとめることを目的としている。実践をふり返り、研修で学んだことと結びつけながら、「信頼関係」について、考えを深めた。「信頼関係」の土台となる安心感の大切さや教師としてのかかわりの4つの視点（聴く、気持ちを受け容れる、感情を共有する、伝える）の重要性について考え、まとめている。

【キーワード】

信頼感 安心感 育む わかろうとする心 信じる

研究主題：基本的自尊感情を育むかかわり
～養護教諭と保健室に大切なこと～

長期研修員 三村 恵子（安来市立宇賀荘小学校）
（教育相談スタッフ相談セッション）

【要旨】

本研修は基本的自尊感情を育むために、「どのようなかかわりや在り方が養護教諭と保健室に大切なか」について考えることを目的としている。教育相談スタッフの皆さんにかかわってもらったことを通して、一つ一つの共有体験から起こる内的プロセスを整理し、大切なかかわりをみつめた。その結果、養護教諭として、自らの基本的自尊感情を育み、自己理解を深めた安定した大人をめざし、保健室に存在することで、保健室は安心できる場所になり得ると考えた。その安心できる場所で取り組みたいこととして、日常の共有体験を通して基本的自尊感情を育むことや、寄り添い思いを受け止めること、Being を大切にしたところもちでかかわることについてまとめた。

【キーワード】

基本的自尊感情 内的プロセス Being 寄り添い・受け止める 安定した大人

研究主題：思いを受け止める

～子どもたちがのびのびと自分らしく過ごすための第一歩として～

長期研修員 井原 知笑（松江清心養護学校）
（教育相談スタッフ特別支援教育セクション）

【 要 旨 】

本研修は、子どもたちがありのままの自分を受け止め、のびのびと自分らしく過ごしていくためには、どのような過程があり、どのようなかかわりが大切であるのかを知り、実践に活かしていく視点についてまとめていくことを目的としている。

子どもたちがありのままの自分を受け止めるためには、かかわる大人が子どもの「思いを受け止める」ことが重要であることを明らかにし、思いを受け止めるために大切なことやどのように思いを受け止めていくとよいのかについて、体験したことや研修で学んだことを基にまとめた。

【キーワード】

自分らしく 自己受容 思いを受け止める 心もち

研究主題：だれもが安心できる居場所づくりをめざして

～インクルーシブ教育理念実現へ向けて個と集団へのアセスメント～

長期研修員 木村 香織（益田市立東陽中学校）
（教育相談スタッフ）

【 要 旨 】

本研修は、学校現場の現状と課題を把握し、様々な背景をもつ生徒一人一人が安心できる居場所を学校に作ることを目的としている。名城大学 曾山和彦教授の提唱される『シンプルプログラム』を実践の『型』とし「生徒一人一人を正しく理解する」「学級集団を正しく理解する」「適切な手立てを講じる」この3つのステップについて研修・実践に取り組んだ。生徒達は「かかわり」の体験を通じて、教室が安心できる居場所であることを実感できた。また事前事後のアンケートからも生徒達の変容が確認できた。これらの検証に基づき、今後学校現場で『シンプルプログラム』を導入するための構想をまとめ、実践の手がかりとした。

【キーワード】

シンプルプログラム かかわり ソーシャルスキル 自尊感情 居場所

研究主題：読み書きにつまずく子どもの支援のあり方
～感覚統合と環境調整の視点から考える～

長期研修員 野田美香（邑南町立市木小学校）
（教育相談スタッフ）

【要旨】

本研修では、読み書きにつまずいていることにより学習意欲や自信をなくしている子どもの支援のあり方を直接的な読み書き指導以外（感覚統合運動と環境調整）で考察することを目的としている。文献研究、講習会・勉強会、授業実践を通して研修を行った。

感覚統合運動を通して、読み書きに関係の深い前庭感覚、固有感覚、視覚にアプローチすることで、読み書きの向上につなげていく。その際に、感覚統合の3大原則「楽しい！自ら！できた！」が実感できるよう、「ジャストライトチャレンジ」（ほんの少し努力すればできそうな取り組み）で取り組んだ。環境調整では、読み書きの苦手な部分を支える方法〔道具の使用、作業の調整（やり方・難易度・量・課題を変える等）〕を考え、子どもが今持っている能力を生かしながら活動できるようにした。「ジャストライトチャレンジの取り組み」と「苦手な部分を支える環境調整」をしたことで、意欲的に活動する子どもの姿が見られた。

【キーワード】

感覚統合の3大原則（楽しい！自ら！できた！） ジャストライトチャレンジ 環境調整

研究主題：「来年度以降生かせる特別支援教育コーディネーターの動きの整理」
～「頼りにされる存在」になるために～

長期研修員 岡崎 奈々子（島根県立浜田高等学校定時制・通信制課程）
（教育相談スタッフ）

【要旨】

本研修は、所属校において特別支援教育コーディネーターとしての役割を果たし、支援が必要な生徒を対象として進路保障をすすめるために必要な力をつけることを目的としている。インクルーシブ教育システム推進センター校や多くの高校とつながり、アンケート調査やインタビューなどの実践を通して研修を行った。学校体制の中での特別支援教育コーディネーターの動きの整理、役割の確認、備えるべき力や、支援が必要な生徒にとって「安心できる」「頼れる」存在になるために必要なことについて考察した。専門的知識や校内体制の整備も必要だが、それらは「人」の思いや熱意があってこそ生かされるものであり、生徒支援のために、校内においても外部機関とも、人と人が「つながる」こと、人と人とを意識的に「つなぐ」ことが必須であると認識した。

【キーワード】

特別支援教育コーディネーター、支援を必要とする生徒、頼りにされる存在、つながる